

公孫樹 (いちょう) 7月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

サボテン実験

これから話す話は、正しいかどうかは分かりませんが……？

「サボテンは人の気持ちがわかる」という話を聞いたことありますか？

アメリカの大学で、サボテンに流れる電流を測定した実験があるそうです。部屋にたくさんサボテンの鉢を置き、Aさんが、その中の1つのサボテンの鉢を床に叩きつけて割ってしまいます。その時、他のサボテンたちの電流が激しく変化しました。Aさんが部屋を出て、Bさんが部屋に入ると、サボテンたちに流れる電流に変化はありません。次に、先ほどサボテンの鉢を割ったAさんが再び部屋に入ると、サボテン達の電流が激しく変化したそうです。



また、人の言葉がけによるサボテンの生育状況も調べました。

サボテンに向かって、毎日やさしい言葉「おはよう、今日も元気でね!」「いつも、キレイに咲いてありがとう!」などと声をかけるとスクスク育ち、反対に、「馬鹿。死ぬ。お前なんか大嫌い」などと声をかけたりしたサボテンは、かわいそうなぐらい元気がなかったという実験結果でした。不思議な話です。

人間にとって優しい言葉は、植物にも同じように“心地よい”と感じるのでしょうか？

私(校長)は、サボテン実験の話は半信半疑です。ただ、言葉には不思議な力があるということは信じています。言葉とは恐ろしいもので、その言葉ひとつで、人を勇気づけることも、絶望に追いやることもできます。友達の一言で、崩れそうになる自分が支えられることもあれば、逆に暗闇の中につき落されてしまうこともあります。

普段何気なく口につく言葉が、毒気たっぷりになっていることはありませんか？

「ふざけんな」「うぜーよ」「めんどくせー」etc.



実は、怒りで口をつく「言葉づかい」そのものが、ストレスを増やしている可能性があります。嫌な気持ちになったとき、最初に口をつく言葉が「ふざけんな」「うぜーよ」といったマイナス言葉なら、それだけでは終わりません。その「毒気たっぷりの言葉」が呼び水となって、頭の中は攻撃的、否定的な言葉であふれ、止められなくなってしまいます。こうした言葉を使った後、いらだちは何倍にもふくらみます。

でも、その毒気たっぷりの言葉は、本当にあなたの気持ちに近い言葉なのではないでしょうか？

言い方一つで絆(きずな)は簡単に壊れてしまうものです。

奈良県の春日大社の宮司である葉室頼昭さんは、「昔から言葉には霊力があるんです。だから良い言葉を使えば幸せになるし、悪い言葉を使えば不幸がやってくる」と言っています。

人それぞれ、言葉の癖があると言います。「出来ない、嫌だ、ダメ」などのマイナス言葉ばかりの人。「楽しい、ツイてる、幸せ」などのプラス言葉が多い人。不思議なことに、プラスの言葉をたくさん言っていると、また言いたくなるような幸せな事がたくさん起きるそうです。何回も口に出して言っていると叶(かな)ってしまうという、目には見えない幸運の法則です。逆に、マイナス言葉ばかり言っていると逆のことが起こります。



「いい言葉を使えば幸せになる。悪い言葉を使えば不幸がやってくる。」

サボテン実験。科学的な真偽は分かりませんが、自覚していきたいものです。

2年生の林間学校

6月21日(日)から3日間、2年生は林間学校で白樺湖に行きました。

1日目は、飯ごう炊さんでカレーを作った後、湖を回るウォークラリー、夜は革細工教室。2日目は、ハイキング・登山、夜はキャンプファイヤー。3日目は和紙の里でうちわ作りを体験しました。大変盛りだくさんでしたが、充実した3日間を送ることができました。



浮き城まつり「行中連(踊り)」の参加者募集について ～めざせ! だんべ踊り大賞～

行田浮き城祭りは、毎年7月の最終土・日曜日に開催される行田市の夏の風物詩です。日曜日には「だんべ踊りパレード」で盛り上がります。「ふるさと行田」を実感する瞬間です。

皆さん、「行中連」に参加して、大賞めざして一緒に踊りましょう!

○今後の予定

- ・7月10日(金) 参加者説明会。帰りの会終了後。
- ・7月13日(月) だんべ踊り講習会。帰りの会終了後、踊りの先生(浮き城祭り実行委員の大澤先生)から体育館アリーナで講習を受けます。
- ・7月26日(日) 集合16時。夕食は学校で用意します。体育館で踊り練習後、お祭り会場に自転車で移動します。だんべ踊りパレードは19時～19時45分です。

